

初日の出に歓声 東松島で元旦イベント 新年の多幸祈る



(2022年1月3日 河北新報)

初日の出を見ながら新年を祝うイベント(奥松島ビーチハウス組合主催)が1日、宮城県東松島市の野蒜海岸であった。仙台市と気仙沼市の風(たこ)の会による凧揚げもあり、子どもから大人まで世代を問わず、元旦ならではのひとときを過ごした。

▶初日の出を拝んだり、写真を撮ったりする人たち。1日午前7時半ごろ、東松島市の野蒜海岸

恭賀新年

午前7時すぎに水平線から太陽が顔を出すと、オレンジ色の空が広がった。訪れた人たちは「すごい」「きれい」と歓声を上げ、手を合わせたり、写真を撮ったりしていた。約3メートルの鳥居の前で、家族の健康や個人の目標を祈念する人もいた。
東松島市大曲の難波亮汰さん(18)は「石巻工高3年」は「春から大学生になるので勉強を頑張りたい」と話し、妹の結衣子さん(13)は「文武両道で1年過ごすのが目標」と話した。

ビーチハウス組合の高橋洋代表は「イベントの認知度が高まり、毎年、多くの人が集まってくれる。これからは東松島市以外の人と野蒜地区との距離感が近くなつてほしいし、海の家が再開できれば、にぎわいがさらに生まれるだろう」と期待した。

(2021年12月31日 信濃毎日新聞デジタル)

長野県と県立歴史館(千曲市)は、過去に災害が発生した日にちを知らせる「災害伝承カレンダー」の2022年版を作った。災害の記憶の風化を防ぐ狙い。県のホームページでデータをダウンロードし、写真用の厚紙などに印刷すると卓上カレンダーになる。

災害の発生日の他、災害に関連する習俗や石碑、住民の

災害記憶の風化防ぐカレンダー

発生日や復興の歩み掲載 長野県と県立歴史館が作成



▶県内外の災害の日になどを伝える「災害伝承カレンダー」

we support
RQ
災害教育
センター

MONTHLY

「東北に黒糖を送ろう!大作戦しんぶん」改め
復興支援「すけさきたしんぶん」
かわけばん

「すけさきた」とは宮城県登米市あたりの言葉で「ボランティアに来たよ」という意味である

JANUARY
11
2022



復興の歩みなども写真付きで掲載。2019年の台風19号災害で被災した長野市長沼地区や、県北部で最大震度6弱を記録した14年の神城断層地震などを紹介している。
県砂防課の河野義隆さんは「伝統行事は災害がもたえることが多い。いま一度、地域の歴史に目を向けてみてはいかがですか」と利用を呼び掛けている。

